2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科目	区	分	専門基礎分野	授業の方法		実習
科目名	システム・情報処理実習	I	必修/這	選択の	り別	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及	び曜日	時限	前期	教室名		PC室
担当教員	中山 弘幸		大学教員(平成2年4月~平成27年3月)、専門学校教諭(平成27年4月~現在に至る) 高等学校教諭第一種免許(工業)、第2種電気工事士免許						

《授業科目における学習内容》

情報科学社会にある現代の個人情報の意味や課題などを学び、情報収集する際の取り扱う意味を理解する。さらに、コン ピュータの基本構成・動作を理解し、効果的伝達方法の活用方法を学ぶ。Windowsの基本操作、ワープロ、表計算、インター ネット利用及び簡単なデータベースについて学び、実習する。

《成績評価の方法と基準》

平常点(20%)、課題評価(40%)、定期試験(40%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

情報リテラシー(FOM出版)及びプリント

《授業外における学習方法》

各実習テーマのレポート作成、次回の実習テーマ予習

《履修に当たっての留意点》

指定された課題の提出は必須です。指定された全ての課題が提出されていない場合は評価の対象になりません。

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
高	実習	授業を 通じての 到達目標	ITリテラシーとPCの基本操作が理解できる。		各単元の予習及びレ ポートまとめ
	自形式	各コマに おける 授業予定	ITリテラシー、OSの操作法、アプリケーションの起動法	教科書	
第	実習	授業を 適じての 到達目標 Wordの各種機能の理解や、応用ができる。			A H = O Z JJ II 4 K
	育形式	各コマに おける 授業予定	便利な機能、Word応用	教科書・プリント	各単元の予習及びレ ポートまとめ
第	実習	授業を 通じての 到達目標	Wordの機能、置換、TAB、数式が使用できる。		各単元の予習及びレ ポートまとめ
l 👸 🖯	習形式	各コマに おける 授業予定	Word 置換、TAB、数式	教科書・プリント	
第	実	授業を 通じての 到達目標	授業を 通じての 到達目標 Excel表、グラフの機能が使用できる。		
4	習形式	各コマに おける 授業予定	Excel表、グラフ	教科書・プリント	各単元の予習及びレ ポートまとめ
	実習形式	授業を 通じての 到達目標	Excelデータベースの操作が使用できる。		各単元の予習及びレ ポートまとめ
		各コマに おける 授業予定	Excelデータベースの操作	教科書・プリント	

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第。	実習	授業を 通じての 到達目標	Excelで関数が使用できる。		各単元の予習及びレ ポートまとめ	
6 □	百形式	各コマに おける 授業予定	Excel 関数	教科書・プリント		
第 晋 7 邢 刑	実翌	授業を 通じての 到達目標	PowerPointを使用したプレゼンテーションが作成できる。		各単元の予習及びレ ポートまとめ	
	自形式	各コマに おける 授業予定	PowerPointプレゼンテーション作成(グループワーク)	教科書		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	PowerPointを使用して作成したデータを使用し発表ができる。		各単元の予習及びレ ポートまとめ	
8 回	自形式	各コマに おける 授業予定	PowerPointグループ毎のプレゼン発表	教科書		
第	実習	授業を 通じての 到達目標				
l in l	育形式	各コマに				
第	授業を 通じての 到達目標					
∄∄	習形式	各コマに おける 授業予定				
第	実習	授業を 通じての 到達目標				
11	習形式	各コマに おける 授業予定				
第	実習	授業を 通じての 到達目標				
局用	自形式	各コマに おける 授業予定				
第	実習	授業を 通じての 到達目標				
13	質形式	各コマに おける 授業予定				
	実習	授業を 通じての 到達目標				
	質形式	各コマに おける 授業予定				
第	実	授業を 通じての 到達目標				
f 15 回	習形式	各コマに おける 授業予定				